

一般国道253号 三和安塚道路の整備促進

新潟県上越市三和区広田～安塚区松崎

1. 事業の概要

地域高規格道路「上越魚沼地域振興快速道路」は、上越地域と魚沼地域を連絡することにより、両地域および北陸自動車道、関越自動車道、上信越自動車道を結びつける広域ネットワークを形成する延長約60kmの道路です。

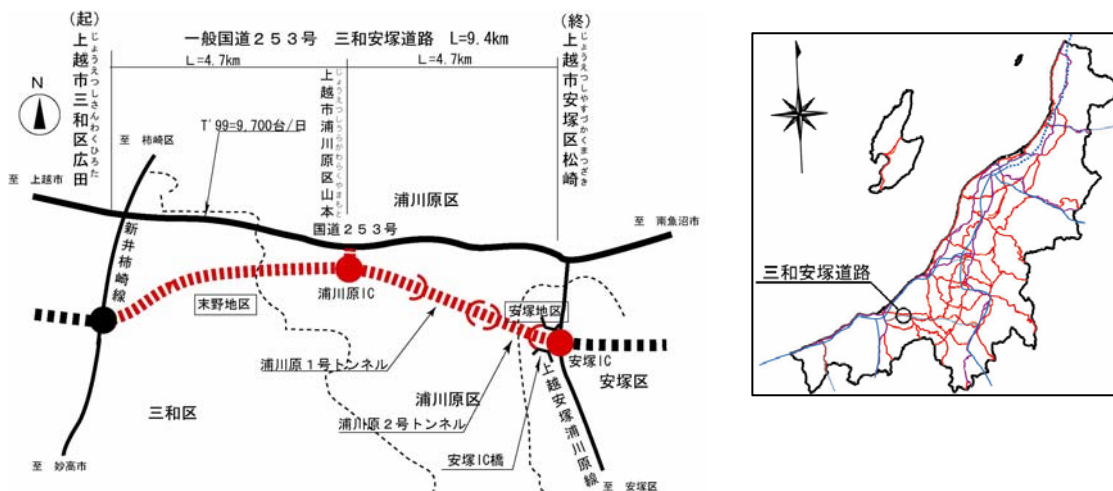
一般国道253号三和安塚道路は、上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成するとともに、物流の効率化、地域の活性化を目的とした上越市三和区広田から上越市安塚区松崎に至る延長9.4kmの4車線（暫定2車線）道路です。

2. 事業の経緯

平成9年度に事業着手し、これまでに浦川原地区及び安塚地区の用地買収及び改良・トンネル工事を進めてきました。

3. 平成19年度事業の概要

平成19年度は、安塚IC橋工事等を促進します。



浦川原1号トンネル側から2号トンネルを望む



まきのおおほし
(仮称) 牧野大橋の整備促進
 たかおか なかそね のうまち
富山県高岡市中曾根～能町
 ひめののうまちせん
(一般県道 姫野能町線)

1. 事業の概要

ひめののうまち
 姫野能町線は、富山県西部の中心都市高岡市と射水市を結ぶ一般県道です。

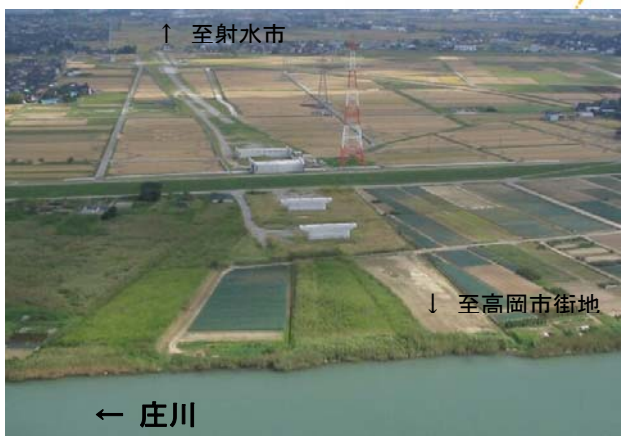
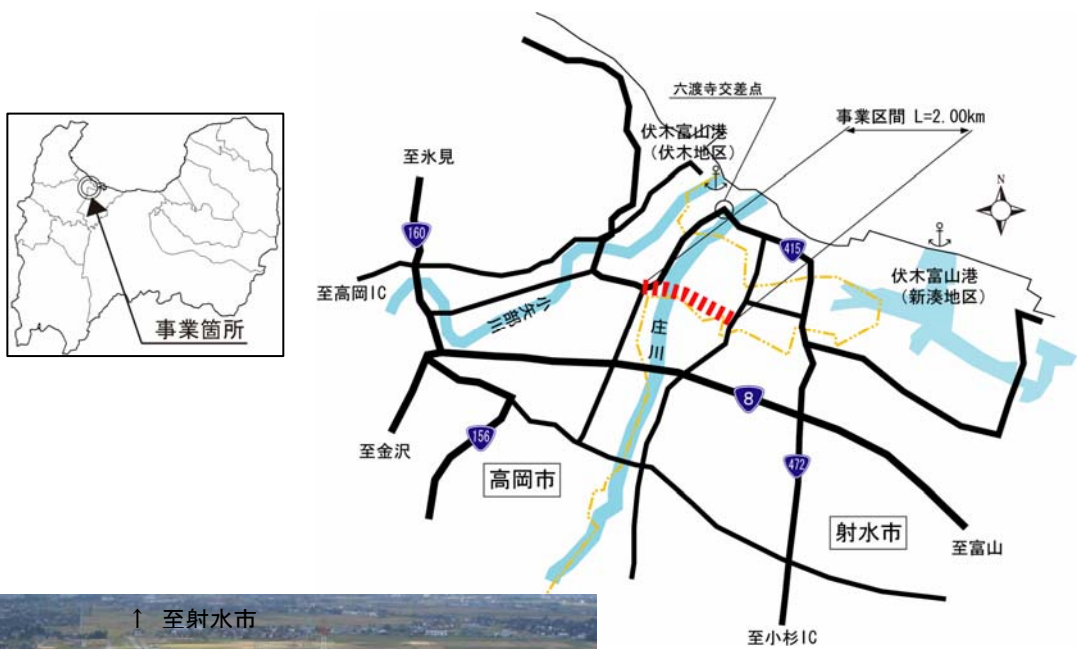
本事業は、しょうがわ
 庄川渡河部の橋梁付近の渋滞緩和、特定重要港湾伏木富山港(新湊地区・伏木地区)へのアクセス強化を目的として、橋梁部分(405m)を含む延長約2.0kmを整備するものです。

2. 事業の経緯

平成13年度から国庫補助事業による整備に着手し、用地買収及び改良・橋梁工事を促進しているところです。

3. 平成19年度の要求内容

平成19年度は、引き続き用地買収及び(仮称)まきのおおほし
 牧野大橋の橋梁下部工を促進します。



工事が進む(仮称)牧野大橋
 庄川左岸より右岸を望む

一般国道8号 つばたきた 津幡北バイパスの全線供用 かほく つばた 石川県河北郡津幡町

1. 事業の概要

津幡北バイパスは、一般国道8号の津幡町内の交通渋滞の緩和を目的とした、石川県河北郡津幡町刈安から同町舟橋に至る延長5.8kmの事業です。

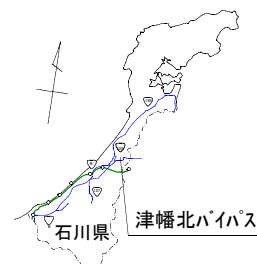
2. 事業の経緯

昭和59年度に事業着手し、平成10年度に津幡町倉見から同町庄間の延長1.7km、平成17年度に津幡町加茂から同町舟橋間の延長0.5kmを暫定2車線で供用しており、平成18年度に津幡町庄から同町加茂間の延長1.7kmを暫定2車線で供用する予定です。

3. 平成19年度の要求内容

平成19年度は、刈安高架橋(L=170m)及び舗装工事を推進し、津幡町刈安から同町倉見間の延長約1.9kmを暫定2車線で供用し、全線を供用する予定です。

当該区間の整備により、津幡町刈安から金沢市今町間の交通混雑が緩和され、CO₂の排出量を年間3,900t/年削減(兼六園約60個が1年間に吸収するCO₂の量に相当)すると見込まれます。



金沢能登連絡道路〔直線化区間〕の整備促進

石川県金沢市粟崎4丁目～内灘町大根布

(主要地方道 金沢田鶴浜線)

1. 事業の概要

金沢能登連絡道路は、石川県金沢市を起点とし同県羽咋郡志賀町に至る延長約60kmの地域高規格道路です。

本事業は、同県金沢市と能登地域との連携強化、重要港湾金沢港へのアクセス強化、現道(能登有料道路)の事故多発区間の解消、近岡交差点及び周辺の渋滞緩和を目的として、延長約3.4kmを主要地方道 金沢田鶴浜線として整備するものです。

2. 事業の経緯

平成18年度から国庫補助事業による整備に着手したところです。

3. 平成19年度の要求内容

平成19年度は、用地買収及び改良工事を促進します。



一般国道305号 上河崎拡幅の整備促進

石川県加賀市黒瀬町～上河崎町

1. 事業の概要

一般国道305号は石川県金沢市を起点とし、福井県南越前町に至る延長約196 kmの幹線道路であり、加賀市の中心地である大聖寺地区と観光地である山代・山中温泉を結ぶ重要な路線となっています。

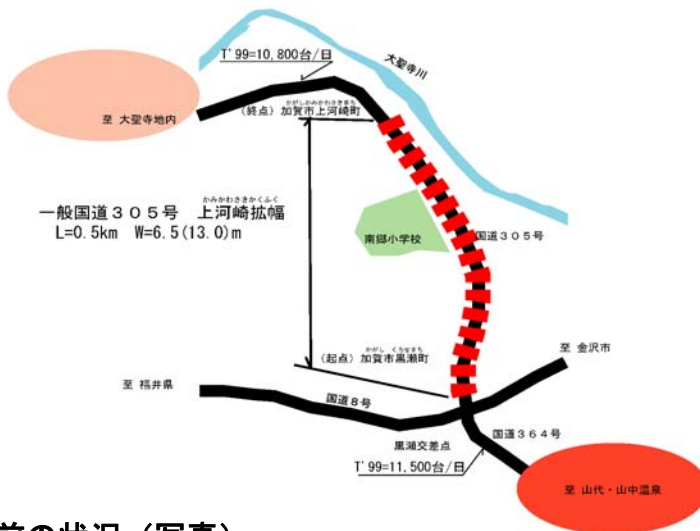
上河崎拡幅は、平成17年10月1日に合併した加賀市と山中町間のアクセス性の向上と、歩行空間の確保を含めた交通環境の改善を図ることを目的とした加賀市黒瀬町から加賀市上河崎町に至る延長0.5 kmの2車線道路です。

2. 事業の経緯

平成17年度に事業に着手し、測量・設計及び用地買収を完了、一部工事に着手したところです。

3. 平成19年度事業の概要

平成19年度は、改良工事と舗装工事を促進します。



拡幅前の状況 (写真)



(黒瀬町まち上河崎町方面を望む)



(上河崎町から黒瀬町方面を望む)

新潟県中越地域で下水汚泥処理場を共同で建設 ～中越地域流域下水汚泥処理事業の整備促進～ (新潟県長岡市)

1. 事業の概要

1) 目的

近年の下水道整備の進捗に伴い、増加する下水汚泥の安定した処理処分を図るため、焼却等による減量化や建設資材化等による有効利用が求められています。

新潟県中越地区において流域下水汚泥処理事業を平成16年度より実施しており、セメント原料としてリサイクルを行います。

2) 全体計画

- ・ 事業期間 H16～H20
- ・ 事業主体 新潟県
- ・ 参加市町村 長岡市、小千谷市、旧越路町（現長岡市）、旧三島町（現長岡市）
旧与板町（現長岡市）、旧和島村（現長岡市）、川口町、三条市、加茂市、
- ・ 計画汚泥量 18,478 t（H30年度末予測）
- ・ 処理方式 乾燥
- ・ 全体計画 乾燥炉（70 t／日）× 1基

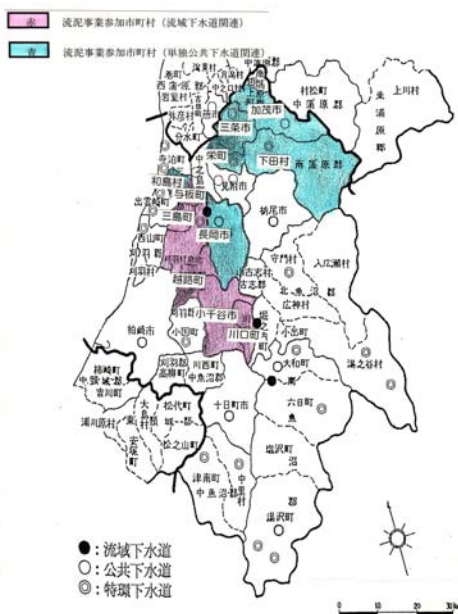
2. 事業の経緯

- 平成16年度より用地買収着手
- 平成17年度年度末用地買収完了
- 平成18年度施設関連整備に着手

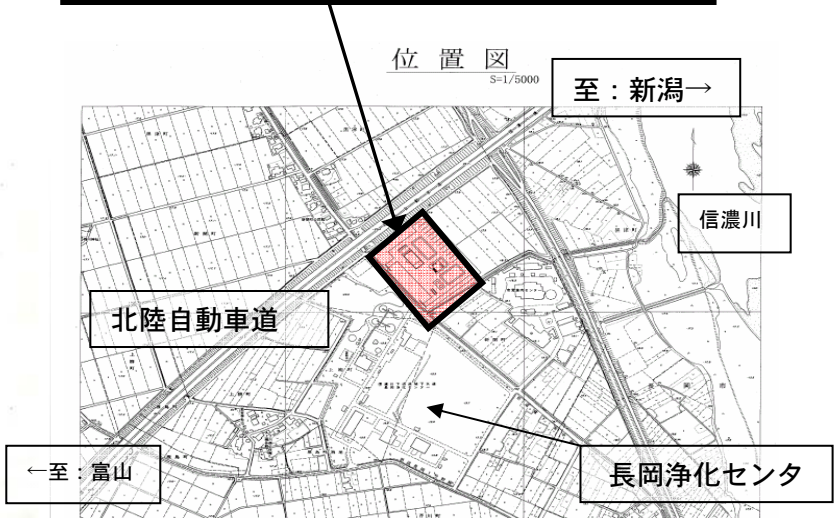
3. 平成19年度の要求内容

汚泥受入・貯留棟工事、乾燥炉工事等を促進します。

流域下水汚泥処理事業参加市町村位置図



中越地域流域下水汚泥処理施設



中心商業地の活性化

～市街地再開発事業 総曲輪通り南地区～ (富山県富山市)

1. 事業の概要

1) 目的

富山市中心街に位置する総曲輪商店街は、来街者が集い憩う施設が無いこと、空店舗の増加、消費者が求めている高付加価値を備えた大型商業施設の欠如等の理由により消費者の魅力、中心商業地としての集客力が大きく低下してきています。本再開発事業の実施により高度な商業集積機能をもった商業施設の整備を行い、西町・総曲輪地区市街地再開発事業、グランドプラザ整備事業と併せて富山市中心市街地の文化交流機能を強化し、中心商業地の活性化を促進します。

2) 全体計画

補助主体： 富山市

施行者： 総曲輪通り南地区市街地再開発組合

整備内容： 延べ面積 約 44,200 m²

鉄骨鉄筋コンクリート造地上7階地下1階

主な用途（商業）

2. 事業の経緯

平成 4 年度 再開発準備組合設立

平成 13 年度 都市計画決定告示

平成 16 年度 組合設立（事業計画決定）

平成 17 年度～ 権利変換計画認可、施設建築物工事着手

3. 平成 19 年度の要求内容

中心商業地活性化のために施設建築物工事を促進します。

【完成予想図】



【グランドプラザの完成予想図】



【グランドプラザの
完成予想図】



一般国道7号 新発田 I C (新新バイパス) 新潟方向の立体化完成 新潟県新発田市

1. 事業の概要

新新バイパスは、新潟都市圏を形成する新潟市、新発田市を有機的に結び都市圏間の連携強化及び慢性的な交通渋滞の緩和を目的とした、北蒲原郡聖籠町藤寄から新発田市奥山新保に至る延長約6.5kmの事業です。

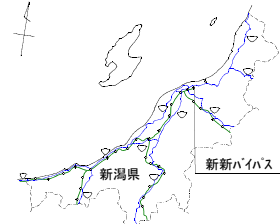
2. 事業の経緯

昭和46年度に事業着手し、平成14年度までに東港 I C から新発田 I C 間の延長約6.1kmについて完成4車線供用しています。

3. 平成19年度の要求内容

平成19年度は、新発田 I C 橋(L=488m)、新発田川橋(L=21m)及び舗装工事を推進し、新発田IC立体化のうち、上り車線側(新潟方向)の延長約1.2kmを供用する予定です。

当該区間の整備により、新発田市近郊の渋滞が緩和され、年間約18万人時間(約7億円)の渋滞損失時間の削減が期待されます。



一般国道8号 いといがわひがし 糸魚川東バイパスの整備推進 いといがわ 新潟県糸魚川市

1. 事業の概要

糸魚川東バイパスは、一般国道8号の糸魚川市内の交通混雑の緩和を目的とした、新潟県糸魚川市まわき間脇から同市おしあげ押上に至る延長約6.9kmの事業です。

2. 事業の経緯

平成元年度に事業着手し、平成4年度に用地買収、平成10年度に工事着手しています。

3. 平成19年度の要求内容

平成19年度は、埋蔵文化財発掘調査及びかじやしき梶屋敷～やまとがわ大和川地区の改良工事を推進するほか、まえかわ前川橋の上部工事及びたがせ田伏トンネル(仮称) (L=189m) に着手する予定です。

当該区間の供用により、現在、通勤時に1kmを超える渋滞が発生しているはやかわにしづめ早川西詰交差点の交通渋滞が緩和される見込みです。



一般国道351号 大手通拡幅の整備促進

新潟県長岡市 表町～古正寺

1. 事業の概要

一般国道351号は、新潟県長岡市を起点とし、新潟県小千谷市に至る幹線道路です。
 大手通拡幅は、CO2削減アクションプログラムに位置づけされた主要交差点を含む、
 長岡市中心市街地の渋滞を解消し、地球温暖化防止、道路交通の円滑化を目的とした長岡市
 表町から長岡市古正寺に至る延長3.6kmの4車線道路です。

2. 事業の経緯

昭和62年度に事業着手し、平成14年度までに長岡市古正寺地区の1.2kmと長岡市表町地区の0.8kmの合計2.0kmを部分供用しています。

3. 平成19年度事業の概要

平成19年度は、大手大橋4車線化工事を促進します。



とやまひがし 一般国道415号 富山東バイパスの整備促進

とやま もり しもいいの 富山県富山市森～下飯野

1. 事業の概要

一般国道415号は、石川県羽咋市を起点とし、富山県氷見市、高岡市、射水市を経て、富山県富山市に至る延長約68kmの幹線道路です。

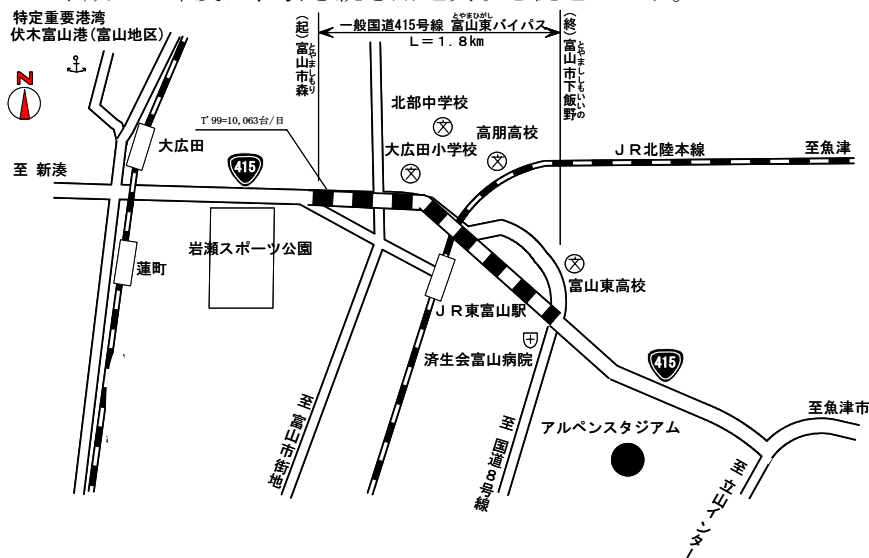
富山東バイパスは、県内渋滞損失時間上位2割に位置する富山市森地内においてバイパス整備を実施し、著しい渋滞の緩和を目的とした富山市森から富山市下飯野に至る延長1.8kmの4車線道路です。

2. 事業の経緯

平成13年度より事業に着手し、用地買収の促進を図ってきたところです。

3. 平成19年度事業の概要

平成19年度は、引き続き用地買収を促進します。



交通混雑の著しいJR踏切部



横川ダム 完成予定

にしおきたまぐん おぐにまち
山形県西置賜郡小国町

1. 事業の概要

1) 目的

- ① 洪水調節
(ダム地点の計画高水流量 880m³/s のうち、570 m³/s の洪水調節を行う。)
- ② 河川環境の保全のための流量確保
(ダム地点下流横川及び荒川本川の既得取水の安定化等のための流量を確保する。)
- ③ 工業用水の供給
(小国町に対し、最大 7,000 m³/日の工業用水を供給する。)
- ④ 発電
(横川ダムの建設に伴い、新設される横川発電所において、最大出力 6,300kw の発電を行う。)

2) ダム諸元

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| ○ダム形式：重力式コンクリートダム | ○ダム高：72.5m |
| ○堤体積：約 24 万 m ³ | ○総貯水容量：2,460 万 m ³ |

2. 事業の経緯

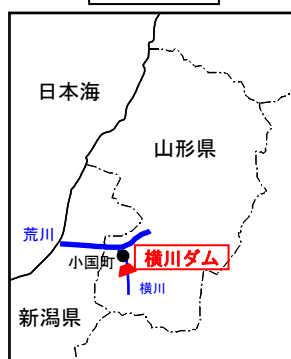
- | | |
|--------------|--------------|
| ○昭和 62 年度 | 実施計画調査着手 |
| ○平成 2 年度 | 建設事業着手 |
| ○平成 3 年 3 月 | 基本計画告示 |
| ○平成 3 年 12 月 | 補償基準妥結 |
| ○平成 15 年 3 月 | 横川ダム本体建設工事着手 |
| ○平成 16 年 6 月 | 本体コンクリート初打設 |
| ○平成 17 年 6 月 | 基本計画変更告示 |
| ○平成 18 年 7 月 | 本体コンクリート打設完了 |

3. 平成 19 年度の要求内容

平成 2 年度より建設事業を実施してきた横川ダムが完成する予定です。

平成 19 年度は、ダム完成に向けて、ダム管理用設備、周辺環境整備などを行い、その後、ダムの安全性を確認する試験湛水を実施する予定です。

位置図



ダム本体コンクリート打設完了後の横川ダム
(上流からダムサイトを望む：平成 18 年 8 月撮影)

利賀ダム 工事用道路を推進

なし
富山県南砺市

1. 事業の概要

1) 目的

① 洪水調節

(ダム地点の計画高水流量 770m³/s のうち、500 m³/s の洪水調節を行う。)

② 河川環境の保全のための流量確保

(庄川本川及び支川である利賀川の既得取水の安定化等のための流量確保。)

③ 工業用水の供給

(富山県に対し、最大 8,640 m³/日の工業用水を供給する。)

2) ダム諸元

○ダム形式：重力式コンクリートダム

○ダム高：110.0m

○堤体積：約 70 万 m³

○総貯水容量：3,110 万 m³

2. 事業の経緯

○平成元年度 実施計画調査着手

○平成 5 年度 建設事業着手

○平成 6 年 11 月 基本計画告示

○平成 10 年 3 月 利賀ダム工事用道路と国道 471 号利賀バイパス合併施工に関する基本協定締結 (局長—富山県知事)

○平成 10 年 10 月 工事用道路着手

○平成 14 年 12 月 貯水池補償基準の合意

○平成 15 年 9 月 水没家屋の生活再建地への移転完了

3. 平成 19 年度の要求内容

ダム本体工事に必要な工事用道路整備及び必要な用地補償を推進します。



きたかわち

北河内ダム事業の促進

～能登町市街地を水害から守り、水道用水の安定供給を図る。～

北河内ダム（石川県鳳珠郡能登町）

1. 事業の概要

1) 目的

町野川は能登地方最大の河川でありながら、河積が小さく、また屈曲している箇所が多いため、古くよりたびたび洪水による被害が発生しており、特に昭和 60 年には浸水家屋約 200 戸、近年では平成 10 年に浸水家屋約 100 戸もの被害を受けています。

また、夏期においては深刻な水不足にたびたび見舞われ、平成 6 年の猛暑では渇水のため、給水制限、農作物の立ち枯れ等、住民生活に多大な支障をきたしました。

このため、町野川流域の水害防除を図るとともに、生活用水の補給等の抜本的な対策として北河内ダムの建設が必要となりました。

平成 7 年度に建設事業採択を受け、平成 22 年度のダム完成を目指しています。

2) 全体計画

事業期間：平成 7 年度～平成 22 年度（予定）

事業内容：多目的ダム（洪水調節、流水の正常な機能維持、水道用水確保）

型 式 重力式コンクリートダム

堤 高 47.0m

堤頂長 140.0m

堤体積 80千³m

2. 事業の経緯

平成 3 年度 実施計画調査着手

平成 7 年度 建設事業着手

平成 17 年度 ダム本体工事着手

平成 22 年度 完成予定

3. 平成 19 年度の要求内容

ダム本体基礎処理及びダム本体コンクリート打設に着手します。



北河内ダム完成イメージパース



ダムサイト左岸掘削状況 H18.7.31 撮影

刈谷田川・五十嵐川・信濃川下流における 上下流一貫した緊急治水対策の推進

～H16.7 新潟・福島豪雨への対応～

新潟県新潟市、三条市、見附市、長岡市（旧中之島町）他

1. 事業の概要

平成16年7月12日～13日の梅雨前線豪雨（新潟・福島豪雨）により、信濃川下流の支川刈谷田川（県管理河川）、五十嵐川（県管理河川）では全半壊を含む床上床下浸水約1万棟、浸水面積約2,500haにおよぶ甚大な被害を受けました。

この災害に対し、国、県が連携して上下流一貫した緊急治水対策として、平成16年度より直接被害のあった刈谷田川、五十嵐川においては「河川災害復旧助成事業（県）」が、また、同助成事業により流量増となる下流側の刈谷田川下流部（県）及び信濃川下流（国）においては、その受け皿確保として「河川災害復旧等関連緊急事業」を、それぞれ実施しています。

この事業の実施により、今回被害の大きかった三条市、見附市、長岡市（旧中之島町）はもとより新潟市をはじめとする信濃川下流域全体の治水安全度を向上させます。

2. 事業の経緯

【直轄】

- 平成15年度 信濃川下流の「緊急対策特定区間」として、約16kmの重点的堤防整備に着手
- 平成16年度 新潟・福島豪雨出水により、上記の緊急対策特定区間を含む約34kmの区間を、信濃川下流「河川災害復旧等関連緊急事業」として事業採択、事業着手

【補助】

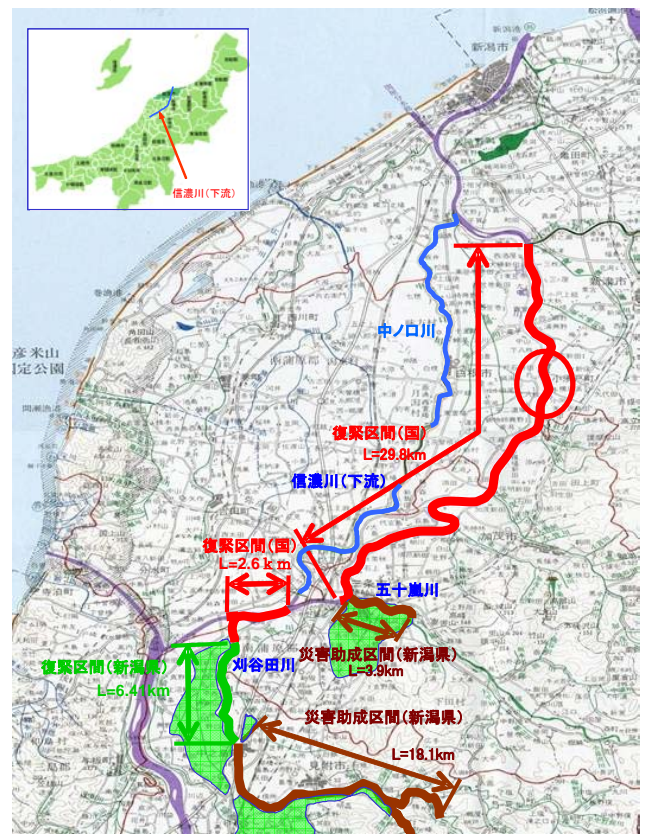
- 平成16年度 新潟・福島豪雨出水により刈谷田川、五十嵐川で「災害復旧助成事業」及び刈谷田川で「河川災害復旧等関連緊急事業」が事業採択、事業着手

3. 平成19年度の要求内容

平成20年度の完成を目指し、平成19年度は築堤、河道掘削等を推進します。



新潟市上八枚地区の築堤現場
(H18.4)



おおこうづかどうぜき

大河津可動堰改築の推進

～著しく老朽化した施設の改築及び流下能力の向上～
 信濃川水系大河津分水路（新潟県燕市<旧分水町>）

1. 事業の概要

1) 目的

大河津可動堰は、信濃川と大河津分水路の分派点に位置し、昭和6年に完成して以来、洗堰とともに大河津分水の根幹的施設(分流制御施設)として、治水、利水機能等に大きな役割を果たしてきています。しかし、設置後70年以上経過し、施設本体の老朽化が顕著となるとともに、敷高等の影響により流下能力不足が生じており、その抜本的対策が急務となったことから改築事業に着手しました。

新可動堰は、現固定堰の下流約300m地点に建設し、流下能力の向上を図ります。改築にあたっては、景観に配慮した堰構造として日本最大級のラジアルゲートを採用するとともに、新技術の活用、コスト縮減、環境にも配慮し、事業を推進していきます。

2) 全体計画

堰本体改築 1式、河道掘削 約1,800千m³ 等

2. 事業の経緯

平成15年度に「特定構造物改築事業」により改築事業に着手。

平成16年度末までに、河道掘削約110千m³を実施。

平成17年度に堰本体工の工事に着手。

3. 平成19年度の要求内容

平成19年度は本体堰柱を推進するとともに、ゲート製作及び堰に架かる管理橋の上部工に着手します。



ふ せ だ に
布施谷川鉄道橋・道路橋緊急対策事業の完成
 ～浸水被害が頻発する地点の重点的な改修～
 信濃川水系布施谷川（新潟県三条市^{さんじょう}）

1. 事業の概要

1) 目的

布施谷川は昭和49年度に河川改修事業に着手し、JR信越本線下流までの河積拡幅等、暫定1/10規模での改修を進めてきました。その結果JR橋下流部については治水安全度の向上が図られているのに対して、JR橋区間は依然として河積狭小のままとなっているため、これに起因する浸水被害が、平成5年、平成7年、平成10年、平成12年と頻繁に発生しています。

このネックとなっている橋梁付近の河積を広げ、浸水被害を早急に解消するため、本事業でJR橋の架替えを実施しています。

2) 全体計画

事業期間：平成15年度～平成19年度

全体計画：鉄道橋の架替え

2. 事業の経緯

平成15年度「鉄道橋・道路橋緊急対策事業」に採択され、事業着手。

平成19年度 鉄道橋架替え完了

3. 平成19年度の要求内容

平成19年度は、JR橋の架替え（上部工・軌道工）、掘削・護岸工を実施し、治水安全度の向上を図ります。



浸水被害写真

市街地の安全確保のため堤防整備の推進 ～庄川弱小堤対策を推進～

いみずし
富山県射水市

1. 事業の概要

庄川の左岸高岡市能町地区の堤防は、高さ及び天端幅が不足し、洪水を安全に流すことのできない弱小堤となっています。背後地には住宅及び工場が密集しており、治水安全度の向上が急務となっています。

そのため、洪水を安全に流すことを目的に、堤防の完成断面化を進める弱小堤対策を計画的に実施しています。

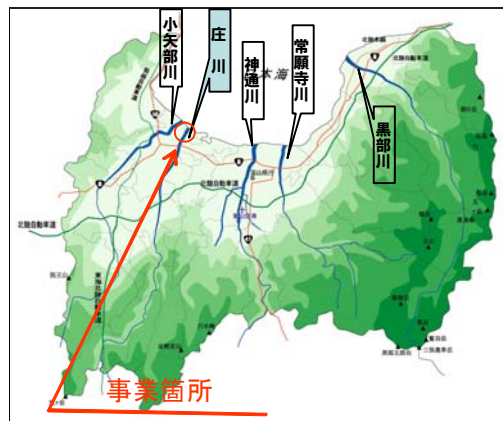
2. 事業の経緯

堤防断面の不足する河口部左岸 4.1km の区間について、平成元年から順次築堤整備を実施しています。平成 18 年度までに約 2.1km が完成しています。

3. 平成 19 年度の要求内容

平成 16 年 10 月 20 日の台風 23 号出水により、庄川では既往最大洪水を記録し、沿川で 3 市町では避難勧告が発令されました。

そのため高岡市能町地先の築堤整備を促進し、早期完成にむけて事業を推進します。



かけはしがわ
梯川重点区間改修事業の推進
 ～大規模引堤による治水安全度の向上～
 梯川水系梯川（石川県小松市）

1. 事業の概要

1) 目的

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。

このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している1.0km～6.0km迄（前川合流点～白江大橋間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。

また改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

2) 全体計画

築堤、旧堤撤去、附帯施設改築、分水路整備 等

2. 事業の経緯

平成8年度の着手以降、河川改修に必要な用地取得、補償や引堤による堤防整備を実施しています。

3. 平成19年度の要求内容

平成18年7月の梅雨前線豪雨出水では危険水位を超えるなど、危険な状況にあることから、引き続き、重点改修区間である小松地区の堤防整備（引堤）を推進するため、用地買収、附帯施設の改築等を促進します。



さいがわ

犀川都市広域基幹河川改修事業の促進

～金沢市街地の治水安全度の向上を図ります～

かなざわ

犀川水系犀川（石川県金沢市）

1. 事業の概要

1) 目的

犀川では昭和 54 年度に河川改修事業に着手し、河口部から J R 北陸本線橋下流までの L=7,350m 区間において、河道拡幅や築堤等の整備を進めてきました。しかし、未だ河川整備が進んでいない区間もあるため、引き続き沿川の治水安全度の確保を目的として、河道断面が不足している伏見川・十人川から河口部までの約 L=4,200m 区間の重点的な整備を実施しています。

2) 全体計画

事業期間：昭和 54 年度～平成 28 年度

全体計画：河道掘削・築堤、橋梁架替え

2. 事業の経緯

平成 17 年度 犀川橋架替え（上部工）、河道掘削・築堤・護岸

平成 18 年度 犀川橋架替え（上部工）、築堤

3. 平成 19 年度の要求内容

平成 19 年度は、犀川橋周辺の河道掘削・築堤・護岸を実施し、治水安全度の向上を図ります。

